

令和7年度第4回奈良市プロポーザル採否審査会会議録

| | | | |
|--|--------------------------|--|-------|
| 開催日時 | 令和7年6月4日（水）午前10時から | | |
| 開催場所 | 奈良市役所 中央棟5階 秘書広報課会議室 | | |
| 出席者 | 委員長 | 鈴木副市長 | |
| | 委員 | 真銅副市長 小西総務部長 中岡法令遵守監察監 谷田市民部長 山口環境部長 下谷都市整備部長 垣見教育部長 | |
| | 事務局 | 契約課長 補佐 | |
| 開催形態 | 公開（傍聴人 0人） | 担当課 | 観光戦略課 |
| 議題 又は案件 | 登録有形文化財帯解駅本屋保存整備工事設計業務委託 | | |
| 決定又は取り纏め事項 | 採用 | | |
| 議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等 | | | |
| 1. 議事の概要 | | | |
| (1) 業務の目的 | | | |
| 登録有形文化財帯解駅本屋について、文化財的価値の保存・活用を図るとともに、駅舎の魅力高め、地域住民や来訪者の観光交流拠点として整備するため、保存整備工事の設計を行う事業で、これを委託により行うものである。 | | | |
| (2) プロポーザル方式を採用する具体的な理由 | | | |
| 本業務は、登録有形文化財帯解駅本屋について、文化財的価値の保存・活用を図りながら、駅舎の魅力高め、地域住民や来訪者の観光交流拠点として整備するための設計業務である。 | | | |
| 建物は現役の鉄道駅舎であり、整備後も引き続き駅舎として使用される。したがって、業務にあたっては、コストや工期等の一定の条件下において、公共施設及び現役の駅舎としての利便性・安全性等の機能を確保しつつ、登録有形文化財としての価値を最大限尊重することが求められる。 | | | |
| そのためには、一般の建築物に関する知識や能力のみならず、文化財建造物の価値についての深い理解と、価値の保存・活用のために最大限の努力と工夫をしようとする姿勢、それらを実際の修復整備工事において具体的に適用することのできる知識と能力が必要である。 | | | |
| 以上のとおり、本業務は、文化財建造物の歴史的価値に対する特段の配慮が必要で、高度な専門的知識及び技術的判断を必要とする業務である。このため、価格の競争による単純な請負には馴染まず、文化財建造物の修復や整備に精通している事業者の知見を求める必要があることから、公募型プロポーザル方式を採用する。 | | | |
| 2. 審議 | | | |
| 受託者選定にあたって、プロポーザル方式が適切かの審議を行った。 | | | |
| 3. 結論 | | | |
| プロポーザル方式を採用した。 | | | |